

静岡県浜松内陸コンテナ基地指定管理者評価委員会 会議録

1 開会

企業立地推進課長が開会の挨拶をした後、評価委員会の趣旨を説明。

2 事務局からの説明（指定管理者の概要、評価方法について）

事務局（企業立地推進課）から配布資料に基づき、指定管理者の概要及び評価方法について説明。

3 指定管理者からの報告

指定管理者である公益財団法人静岡県コンテナ輸送振興協会（堀田専務理事）から、配布資料に基づき、令和7年度の管理運営実績等について報告。

4 指定管理者への質疑応答

【BCPについて】

（評価委員）

- ・管理棟の耐震性能は事業継続計画上、どのようになっているか。
- ・災害対策本部は管理棟に設置して問題ないか。
- ・レベル1～2の地震が発生したとき災害対策本部を設置するとあるが、それより小さい場合の対応について教えてほしい。
- ・災害時連絡方法はメール等とあるが、最近ではビジネスチャットが主流となってきている。そちらの検討はしていないか。

（指定管理者）

- ・管理棟は耐震性能が良い建物（ランク 1b）であると評価。
- ・コンテナ基地は近隣に住民がいないため、災害対策本部は管理棟に設置するとしている。
- ・レベル1～2より小さい場合でも、状況に応じ、県とも相談しながら設置を検討したい。
- ・直近で連絡方法を電話からメールに変えたが、ビジネスチャットについても検討していきたい。

【防災訓練について】

（評価委員）

- ・教育、実地訓練が年1回ずつとなっているが、回数は適正か。

（指定管理者）

- ・AEDの更新に伴い、訓練を増やすことを検討している。
- ・救護訓練の実施など回数を増やすことを検討していく。

【資金状況について】

(評価委員)

- ・協会の資金状況を確認したい。
 - ・災害等により、コンテナ基地利用料金の収入が見込めない場合、どのように対応するか。
- (指定管理者)
- ・資金状況については問題ないが、管理費の節減や短期定期運用についても検討していきたい。
 - ・不測の事態においても対応できるよう資金を管理・運営している。

【協会職員について】

(評価委員)

- ・非常勤職員の勤務体制を教えてほしい。
 - ・疾病等により職員が不在となった場合の体制について教えてほしい。
- (指定管理者)
- ・開場時間である午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分までを早番、遅番を設定し対応している。
 - ・不在時についてもフォローできる体制となっており、常勤 2 人、非常勤 2 人の人員で対応していく。

【周辺道路について】

(評価委員)

- ・周辺道路に渋滞や滞留は生じているか、またどのように対応していくか。
- (指定管理者)
- ・周辺道路では、午前 7 時 30 分頃、通勤による渋滞が発生している。
 - ・渋滞の発生要因とならないよう、コンテナ基地開場時間（午前 7 時 30 分）前に入場門付近に並ばないよう利用者を通じて運送会社へ依頼している。

【港別の貨物取扱量について】

(評価委員)

- ・輸入貨物が名古屋港に比べ、清水港が少ない理由について教えてほしい。
- (指定管理者)
- ・名古屋港は清水港には無い航路を複数持っており、そうした要因が影響している。

【施設利用実績について】

(評価委員)

- ・昨年度と比べ、施設利用実績が減少している理由について教えてほしい。
- (指定管理者)
- ・利用者が 1 社減となったことによるものだが、その部分について、他の利用者が利用することとなったため、使用面積については減少していない。

【事業概要の冊子について】

(評価委員)

- ・事業概要の冊子を作成しているが、費用削減のためその印刷方法や公表方法について検討できるのでは。

(指定管理者)

- ・パンフレットについての公報はHPで代替することに伴い印刷を廃止した。事業概要の冊子についても経費節減が可能か検討していく。

【防犯カメラの設置について】

(評価委員)

- ・防犯カメラの設置の有無について教えてほしい。

(指定管理者)

- ・防犯カメラの設置はしていない。機械警備で代替している。

5 委員による意見交換、評価

委員による意見交換、評価を行うため、指定管理者はいったん退室。

(評価委員)

- ・全般的にしっかりと運営されている。
- ・広大な敷地であるため、BCPの観点から災害対応時に上手く活用されると良い。車中泊のための避難場所としても良いかもしれない。

(評価委員)

- ・予算も厳しい中、しっかりと運営されていることは評価できる。
- ・災害対応を含めて、公的な立場としての活動は現在の人員で上手く実施していけると良い。
- ・大規模修繕を未然に防ぐ観点からも一定の予算があるうちに計画を立て、修繕を実施してもらいたい。

(評価委員)

- ・事務局長が交代した中、引継ぎがしっかりとされている。
- ・利用目的に沿った運営がなされている。
- ・事業概要の冊子について、内容としては重要であるが、印刷を要するものなのか検討いただきたい。

(評価委員)

- ・中東情勢の先行きや輸送関係のモーダルシフト等、中継輸送の重要性が非常に高まっている中で利用者との情報交換が引き続き必要ではないか。
- ・災害対策、防犯対策は常にアップデートしていく必要がある。

(評価委員)

- ・ 基本的事項について問題なく、運営できている。
- ・ 防災訓練については年1回ではなく、緊急で実施するなど、適宜見直しも検討してほしい。
- ・ 公益法人として、地域でどのように価値を高めていくかも重要となる。地域とコミュニケーションを図りながら法人運営をしていただきたい。

6 評価発表、講評

- ・ 総合評価については、「良」評価できるという結果になった。
- ・ 指摘事項は特になし。2点未満となった項目もなかった。
- ・ 参考意見として次の3点を示すので、参考としてほしい。
 - ア 専務理事交代の引継ぎがしっかりなされており、基本的事項について適切に運営されていることは評価できる。
 - イ 防災訓練については年1回ではなく、それを確認する意味でも複数回実施し、適宜BCPの点検・見直しを行ってほしい。
 - ウ 公益法人として、地域の方々とコミュニケーションを図りながら、共存共栄に向け、情報交換・情報発信をしていただきたい。